

## つなげて考える～白鳥とつばめ～

校長 飯塚 進

白鳥が飛んでくる季節になりました。朝夕に空を飛んでいたり、田んぼでえさをついばんだりする姿がよく見られます。白鳥が飛んでくると冬が近づいていることを感じます。

一方で、この季節になるとつばめはまったく見かけなくなります。そして雪が解け始め、春が近づいてくるとつばめがやってきます。春になると、反対に白鳥がいなくなります。

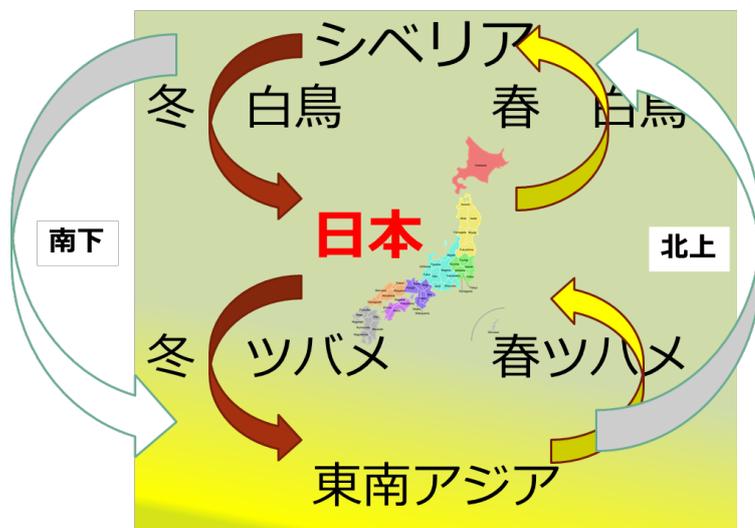
そのため、たぶん、下の写真のような場面を私たちは見ることはできません。



私は以前、このことだけを考え、白鳥とつばめは、まったく反対の動きをする鳥のように感じていました。

しかし、これをまさに鳥の目のように、遙か上空から地球を俯瞰的に見ることを教えられ、白鳥とつばめは、まったく同じ動きをしていることを理解しました。つまり、下の図

のように、冬になると白鳥もつばめも南に移動し（南下）、春になると北に移動（北上）するというわけです。



子どもたちは毎日勉強して様々な知識を得ています。その1つ1つの知識を得たら、この白鳥とつばめのように、知識と知識をつなげて考えることが大切だと思っています。つなげて考えることで、新しい発見をすることができます。さらに、生きた知識とか、活用力、思考力、判断力というような、今大切だと言われている力が身に付いていくのではないかと思います。